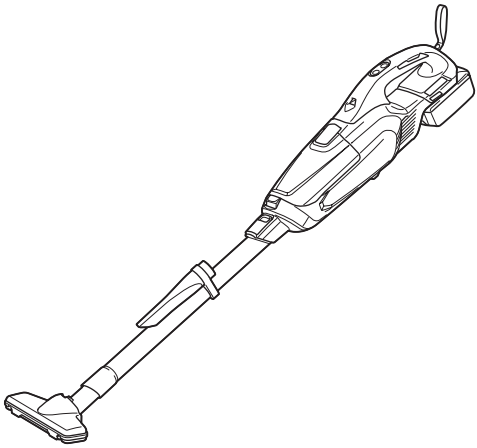
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル CL282FD



このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

- 主要機能 ---------- 3
- 安全上のご注意 ---------- 4
- 各部の名称および標準付属品 ---------- 14
- 別販売品のご紹介 ---------- 16
- バッテリについて ---------- 18
- 充電器について ---------- 21
- 使い方 ---------- 30
  - ご使用前の注意事項 ---------- 30
  - スイッチの操作 ---------- 31
  - LED ライトについて ---------- 32
  - ストレートパイプ（ロック付）の取り付け方・取りはずし方 ---------- 33
  - 【別販売品】ロック付クリーナ用伸縮フレキシブルホースの取り付け方・取りはずし方 ---------- 34
  - ノズルの取り付け方・取りはずし方 ---------- 35
  - クリーナと付属品の使い方 ---------- 35
- ゴミの捨て方 ---------- 38
  - ゴミの捨て方 ---------- 38
- ダストバッグ / 紙パックの取り付け方 ---------- 40
  - ダストバッグの取り付け方 ---------- 41
  - 紙パックの取り付け方 ---------- 42
- 保管について ---------- 44
  - 本製品の立て掛け方 ---------- 44
- お手入れについて ---------- 45
  - 本製品のお手入れ ---------- 45
  - ダストバッグのお手入れ ---------- 45
  - ゴミストッパーのお手入れ ---------- 46
  - スポンジフィルタのお手入れ ---------- 47
  - スポンジフィルタの取り付け方 ---------- 47
- 保護機能 ---------- 48
  - 本製品およびバッテリの保護機能 ---------- 48
- 故障かな？と思ったら ---------- 49
- 充電式クリーナ 保証書 ---------- 52

主要機能

主要機能＼モデル	CL282FD
電動機	ブラシレスモータ
バッテリ	リチウムイオンバッテリ
	バッテリ BL1830B（容量 3.0 Ah）
電圧	直流 18 V
連続使用時間※ 1	パワフル：約 15 分 強：約 20 分 標準：約 50 分
集じん容量	500 mL（高機能ダストバッグ） 330 mL（紙パック）
本製品寸法※ 2	長さ 503 mm ×幅 114 mm ×高さ 154 mm [ストレートパイプ（ロック付）およびノズル取り付け時の長さ 1,016 mm] [ロック付サイクロンアタッチメント、ストレートパイプ 340（ロック付）およびノズル取り付け時の長さ 1,016 mm]
質量※ 3	1.5 kg

充電器		DC18RF
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50/60 Hz
入力容量		330 W
バッテリ充電端子	出力電圧	直流 14.4-18 V
	出力電流	直流 12 A
USB電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.1 A
	端子形状	USB A 型

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 1：BL1830B、ストレートパイプ（ロック付）、ノズル、高機能ダストバッグ装着時
※ 2：BL1830B 装着時
※ 3：BL1830B 装着時
ストレートパイプ（ロック付）、サッシノズル、ノズルホルダ、ノズル非装着時

安全上のご注意

JPC002-10

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

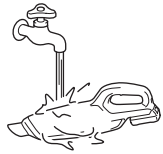
⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用しない。
  - 感電や発煙の恐れがあります。



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
  - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 子供に本製品や充電器で遊ばせない。
  - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、バッテリを抜く。
  - ゴミ捨て
  - フィルタ類の清掃（お手入れ）
  - 保管
  - その他危険が予想される作業

- 本製品にバッテリを差し込む際は、スイッチが入らないように注意する。
  - スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリを装着すると、急に動きだし事故の原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
  - けがの原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に顔を近づけない。
  - けがの原因になります。

⚠警告

・ 屋外で使わない。

・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
  ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。

引火性物質
- 油類（灯油・ガソリンなど）
- 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- トナーなどの可燃物
- 塗料
- 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- 可燃性ガス（スプレーなど）
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質
- ニトログリセリンなど

発火性物質
- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの
- ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）
除湿剤
大量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）
人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質
薬品類
液体や湿ったゴミ
動物などの排泄物、吐しゃ物

⚠警告

- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

- マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- 作業場の周囲状況も考慮する。
  - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- 無理な姿勢で作業をしない。
  - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

- 火気や暖房器具などに近づけない。
  - 本製品の変形による短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで使用したり、充電したりしない。
  - 爆発や火災の原因になります。

⚠警告

- 損傷した部品がないか点検する。

  - 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

- 充電式クリーナは、注意深く手入れをする。

  - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

- 温度が 50 ℃を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。

  - 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
  - 内蔵のバッテリが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

- 使用しない場合は、きちんと保管する。

  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。

- 雨中で充電したり、ぬれた手で電源プラグやバッテリを抜き差ししない。充電器の端子に金属片や水などの異物を近づけない。

  - 感電やけがをすることがあります。

⚠警告

- 交流 100 V で充電する。

  - 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源で充電しないでください。火災の原因になります。
  - ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 火災の恐れがあるので、次のようなことをしない。

  - ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、たたみ、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
  - 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
  - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて充電を中止する。

  - そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 専用の充電器以外は使用しない。

  - バッテリの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
  - 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しない。

- 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。

⚠警告

- 充電器のコードを乱暴に扱わない。

  - コードを持って充電器を運んだり、プラグコードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

- 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの差し込みがゆるいときは使用しない。

  - 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 充電器に使用する延長コードは、使用環境に適したものを使用する。

  - 延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

  - 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

- 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。

  - 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- バッテリは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。

  - 端子に金属類を接触させないでください。
  - 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
  - 雨や水にぬらさないでください。
  - 分解、改造はしないでください。
  - 火中に投入しないでください。

- 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。

  - 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠警告

- マキタ指定以外のバッテリ、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しない。また、バッテリをマキタが指定した製品以外で使用しない。
  - 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- バッテリや充電器を充電中に布などで覆わない。
  - 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しない。
  - 発熱や破裂、発火の原因になります。
  - 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

- 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しない。
  - 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。

- バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。該当するバッテリを輸送する際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従う。
  - 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

- 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てない。
  - 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠警告

・ 十分な防じん対策をしてください。

・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 注意

- 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
  - 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

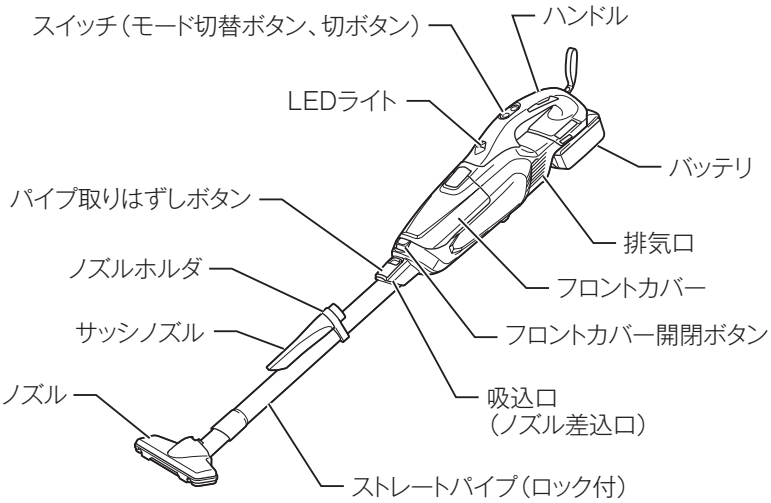
- フィルタを正しく取り付ける。
  - フィルタを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

- 吸込口をふさいで長時間運転しない。
  - 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。

- 排気口をふさがない。
  - 火災の原因になります。

- 高所で使用するときは、本製品を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本製品のハンドルを持って運ぶ。
  - 本製品や付属品がはずれたりして落下すると、けがや故障の原因になります。
  - ハンドル以外を持って持ち運ぶと、本製品からはずれるなど落下の原因になります。

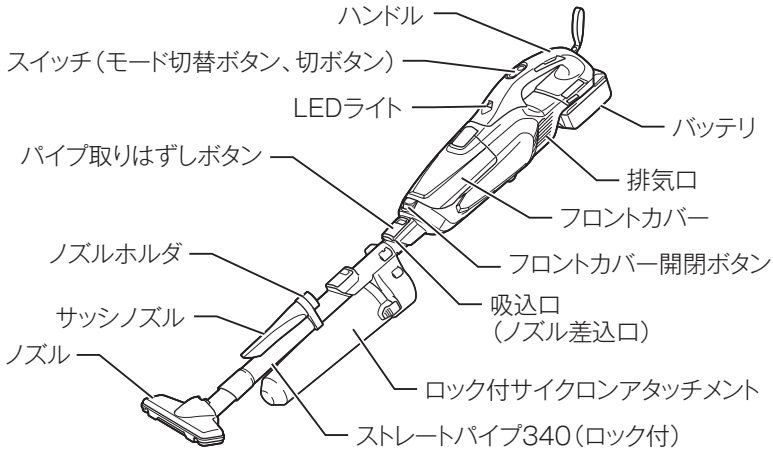
各部の名称および標準付属品



標準付属品

モデル / 標準付属品	CL282FDZ	CL282FDRF
バッテリ （容量）	×	BL1830B （3.0 Ah）
充電器 （充電時間）	×	DC18RF （実用充電完了*1: 約17 分） （フル充電完了*2: 約22 分）
ノズル 部品番号：123486-2	○	○
ストレートパイプ（ロック付） 部品番号：459353-8	○	○
サッシノズル 部品番号：413770-6	○	○
ノズルホルダ 部品番号：459354-6	○	○
高機能ダストバッグ *3 部品番号：A-58257	○	○
紙パック（10 枚入り） 部品番号：A-48511	○	○
バッテリカバー 部品番号：450128-8	×	○

各部の名称および標準付属品



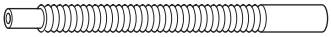
標準付属品 ＼ モデル	CL282FDZC	CL282FDFC
バッテリ （容量）	×	BL1830B （3.0 Ah）
充電器 （充電時間）	×	DC18RF （実用充電完了 *1: 約 17 分） （フル充電完了 *2: 約 22 分）
ノズル　部品番号：123486-2	○	○
サッシノズル　部品番号：413770-6	○	○
ノズルホルダ　部品番号：459354-6	○	○
高機能ダストバッグ *3 部品番号：A-58257	○	○
紙パック（10 枚入り） 部品番号：A-48511	○	○
バッテリカバー　部品番号：450128-8	×	○
ロック付サイクロンアタッチメント *4 部品番号：A-68856	○	○
ストレートパイプ 340（ロック付）*4 部品番号：459481-9	○	○

*1 実用充電完了：フル充電完了の約 80% の充電が完了した状態。
*2 フル充電完了：バッテリの容量一杯まで充電された状態。
*3 高機能ダストバッグは購入時、本製品に取り付けてあります。
*4 ロック付サイクロンアタッチメントおよびストレートパイプ 340（ロック付）の使用方法は、ロック付サイクロンアタッチメント の取扱説明書をご参照ください。

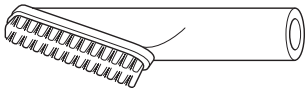
別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

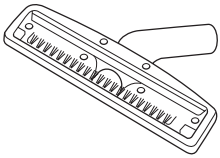
・ フレキシブルホース
（スノーホワイト）
部品番号：A-65925
※自由に曲がるため、車などの狭い場所の掃除に便利です。



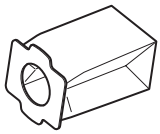
・ 棚ブラシ（スノーホワイト）
部品番号：A-65931



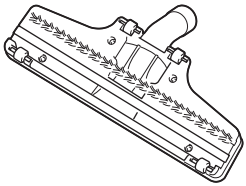
・ じゅうたん用ノズル
（アイボリー）
部品番号：A-37546



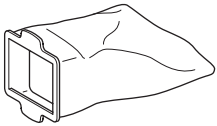
・ 抗菌紙パック（10 枚入り）
部品番号：A-48511



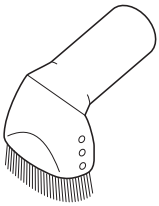
・ フロア・カーペットノズル
（スノーホワイト）
部品番号：A-59950
※カーペット掃除でのゴミ捕集率が高く、フローリングでも使用可能です。



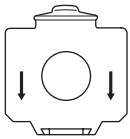
・ 高機能ダストバッグ（1 枚入り）
部品番号：A-58257
・ ダストバッグ（1 枚入り）
部品番号：A-43957



・ ラウンドブラシ
（スノーホワイト）
部品番号：A-65947

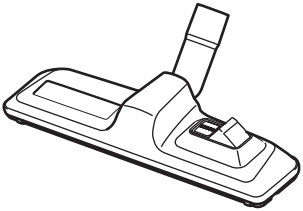


・ バルブステーコンプリート
（ゴミストッパー）
部品番号：140K08-9

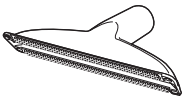


別販売品のご紹介

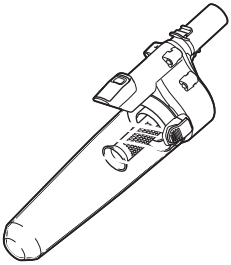
・ 切替ノズル
部品番号：A-61335



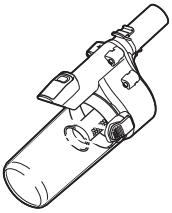
・ シートノズル
部品番号：A-67022



・ ロック付サイクロンアタッチメント
部品番号：A-68856
※ストレートパイプ 340（ロック付）と合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。



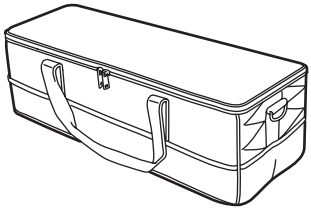
・ ロック付ショートサイクロンアタッチメント（スノーホワイト）
部品番号：A-72453
※ストレートパイプ 340（ロック付）と合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。



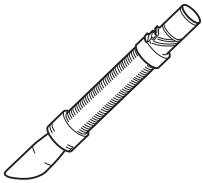
・ ストレートパイプ 340（ロック付）
部品番号：459481-9
※ロック付サイクロンアタッチメント、ロック付ショートサイクロンアタッチメントと合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。

※ロックが付いていないサイクロンアタッチメントには取り付けられませんのでご注意ください。

・ クリーナ用ソフトバッグ
部品番号：A-67153



・ バッテリ BL1815N（容量 1.5 Ah）
部品番号：A-60311
・ バッテリ BL1820B（容量 2.0 Ah）
部品番号：A-61715
・ バッテリ BL1830B（容量 3.0 Ah）
部品番号：A-60442
・ バッテリ BL1860B（容量 6.0 Ah）
部品番号：A-60464
・ ロック付クリーナ用伸縮フレキシブルホース
部品番号：A-70362



バッテリについて

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、バッテリ保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

バッテリについて

バッテリの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリの抜き差しをする際は、スイッチに指を添えないでください。

・ スイッチに指を添えた状態でバッテリを差し込むと、急に動きだし事故の原因になります。

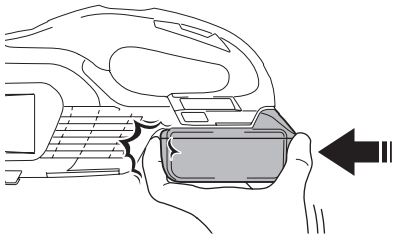
バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

⚠ 注意

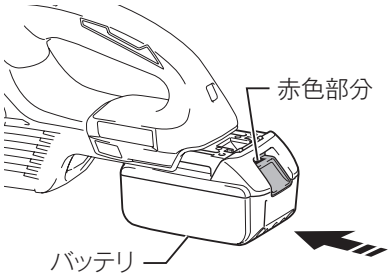
バッテリを取り付ける際は、本製品とバッテリの間で指をはさまないようにしてください。

・ けがの原因になります。



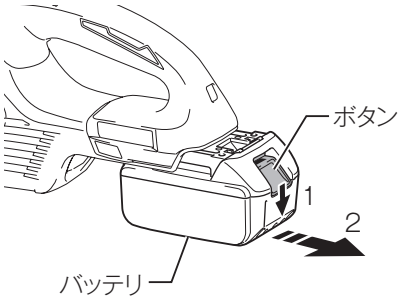
取り付け方

・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。

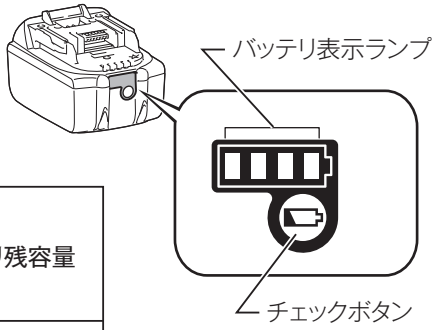


バッテリについて

バッテリ残容量表示機能

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリは、残容量表示機能が付いています。

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



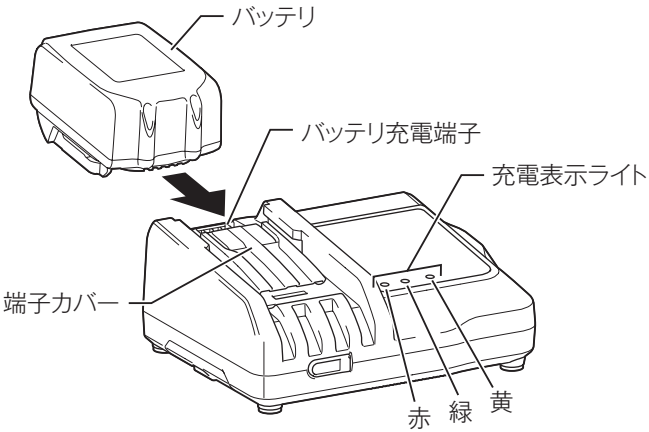
バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
◪ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリの異常です。

注

・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

充電器について

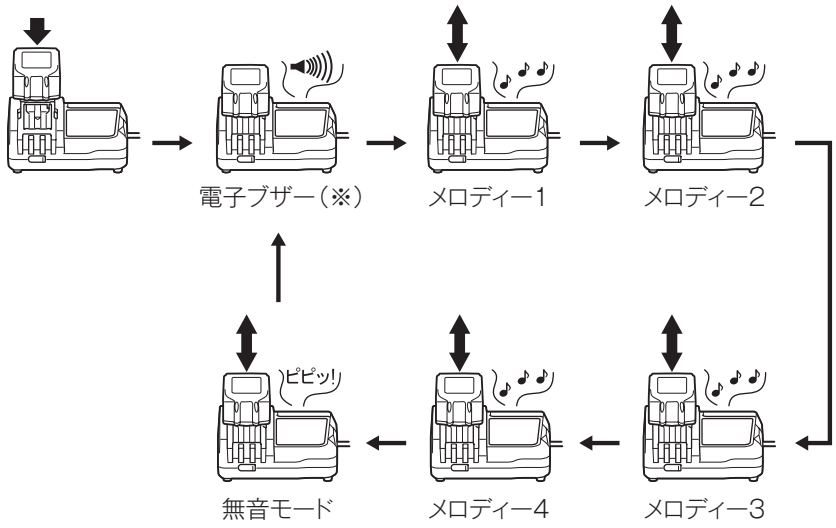
バッテリの充電方法



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込みます。
・ 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
・ 充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
4. 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。
・ 充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。
5. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。
2. このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
   「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器について

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
（通常充電のライト表示および表示内容）

ライト表示 ☀ 点滅 ● 点灯	表示内容
○ 緑 ○	充電前　「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
赤 ○ ○	冷却中　「赤 1 個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
赤 ○ ○	充電中　「赤 1 個」点灯 バッテリ容量約0~80 %を示します。
赤 緑 ○	実用充電完了　「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリ容量約80~100 %を示します。
○ 緑 ○	フル充電完了　「緑 1 個」点灯 電子ブザーまたはメロディー

（オートメンテナンス時のライト表示および表示内容）

○ ○ 黄	オートメンテナンス　「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。

（異常時のライト表示および表示内容）

赤 緑 ○	充電不可　「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
○ ○ 黄	冷却システム異常　「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

充電器について

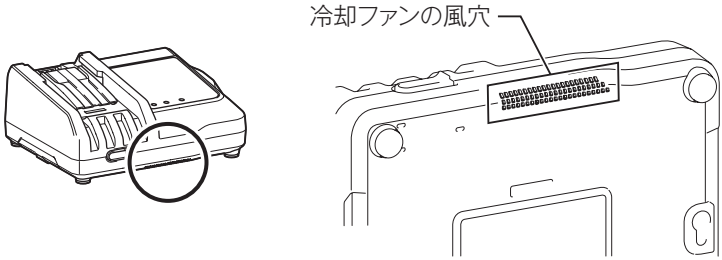
注

- DC18RF はマキタバッテリ専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
  × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  × バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
- バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

冷却システムについて

・ バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
・ 充電器の前面下部にある「冷却ファンの風穴」がゴミでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
・ 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

オートメンテナンス機能について

・ オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
・ 下記１～４の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  1 高温充電の繰り返し
  2 低温充電の繰り返し
  3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
  4 過放電の繰り返し
  （過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です）

充電器について

USB 電源端子への接続

⚠ 警告

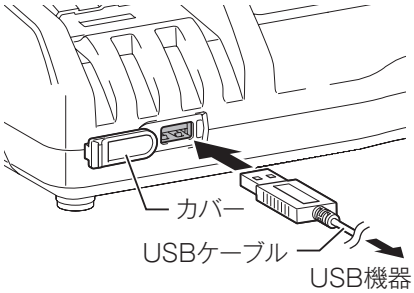
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
- 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC18RF は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- 2.1 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。USB 電源端子の最大出力電流は、2.1 A です。
- 充電器との接続には、USB 機器付属の USB ケーブルをご使用ください。
- 使用後は充電器正面のカバーを戻してください。カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障につながります。

1. 本体正面のカバーをはずして、USB ケーブルで USB 機器と充電器を接続してください。
2. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

壁に取り付けて使用する場合

⚠ 注意

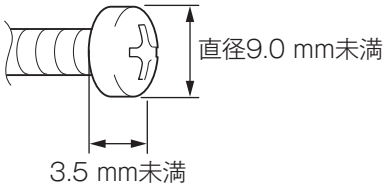
- 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ２本で確実に吊下げてください。
- 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- 取り付け作業を行うときは、バッテリを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- 充電器本体、バッテリの総重量は、約 1.6 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

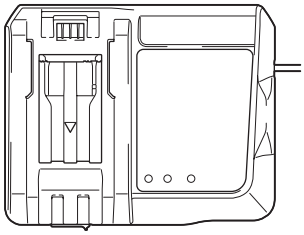
用意するもの（別途準備してください）

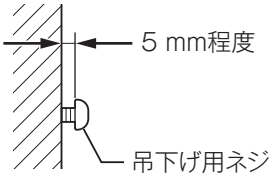
- 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：２本
  ※ネジ頭は下図の寸法としてください。

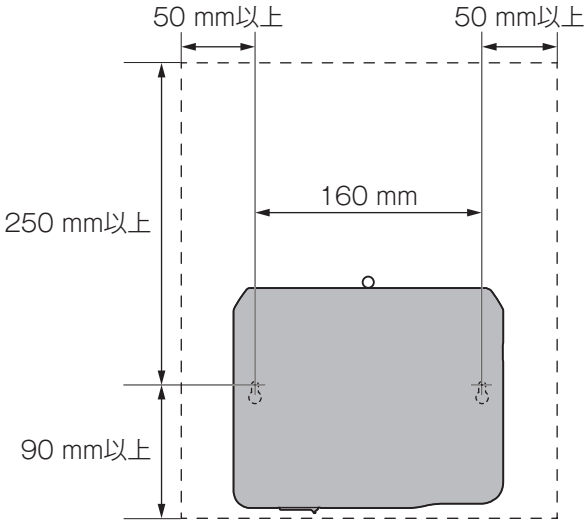


- 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：１本
- 工具（ネジ締め用）

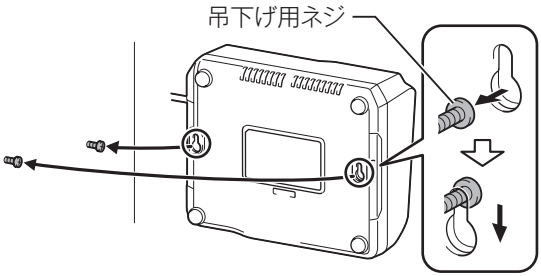
2. 吊下げ用ネジの取り付け
周りに充電器の取り付け作業や、バッテリの充電作業の障害になる出っ張りなどがない、強度のある壁面に取り付けてください。



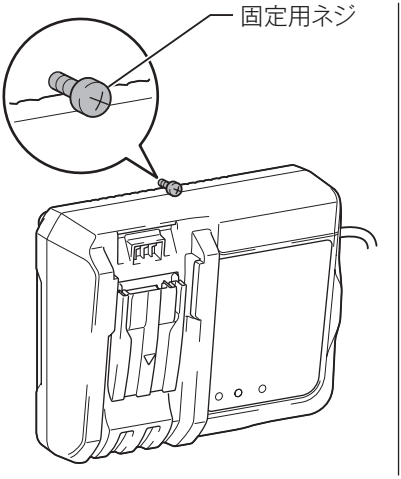




3. 充電器の取り付け
手順 2 で取り付けた吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



4. 充電器の固定
固定用ネジを図のように締め込んでください。



充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
×温度や湿度の急変する所
×湿気の多い所
×直射日光の当たる所
×揮発性物質の置いてある所

ご使用前の注意事項

⚠ 注意

ご使用前にダストバッグや紙パックなどを正しく取り付けてからご使用ください。

- 正しく取り付けていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。
- お買い上げの際はあらかじめダストバッグが取り付けられています。洗浄がご面倒な場合は使い捨ての紙パックをお使いください。

ダストバッグや紙パックなどは本製品性能を維持するための大切な機能部品です。必ずマキタ純正品をご使用ください。

- マキタ純正品以外の部品を使用すると十分な性能が得られないだけでなく、モータの発煙や発火の原因になります。

故障を防ぎ、バッテリを長持ちさせるために、使用後は必ずスイッチを切ってください。また、使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。

スイッチの操作

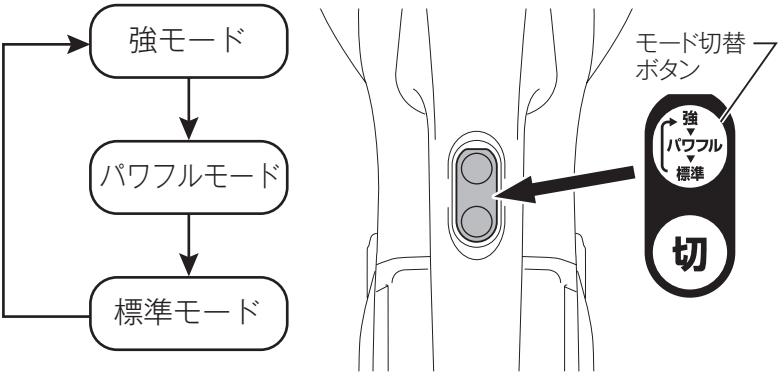
⚠ 注意

バッテリの抜き差しをする際は、スイッチに指を添えないでください。

・ スイッチに指を添えた状態でバッテリを差し込むと、急に動きだし事故の原因になります。

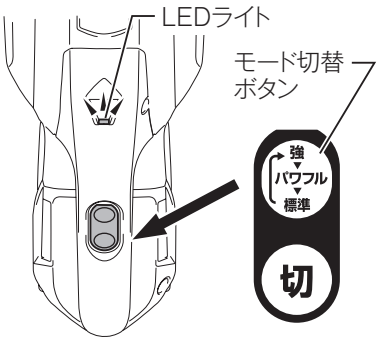
・ 本製品は必要に応じて「吸引力」を次の三段階に切り替えて使用できます（カッコ内は連続使用時間目安）。
①強モード（約 20 分）…汚れのひどい場所でお使いください。
②パワフルモード（約 15 分）…「強モード」では対応できない汚れのひどい場所でお使いください。
③標準モード（約 50 分）…汚れが少ない場所の掃除に最適です。

・ 電源が切れている状態から「モード切替ボタン」を 1 回押すと「強モード」で運転を開始します。
・「モード切替ボタン」を押すごとに、下記のようにモードが切り替わります。
・「切ボタン」を押すと本製品の電源が切れます。



LED ライトについて

・ モード切替ボタンを操作すると LED ライトが点灯します。
・ LED ライトは切ボタンを押すか、モータが自動停止した際に消灯します。



バッテリ切れお知らせ機能

・ LED ライトが点滅した際は、バッテリを充電器で充電してください。
  ・ ご使用中、バッテリの容量が少なくなると、LED ライトが点滅してお知らせします。
  ・ バッテリの容量がさらに少なくなるとモータが自動停止し、LED ライトが消灯します。

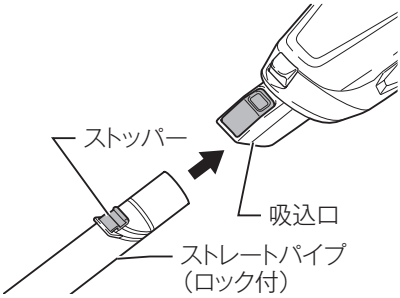
注

・ バッテリ切れお知らせランプの点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリの状態によって変化します。

ストレートパイプ（ロック付）の取り付け方・取りはずし方

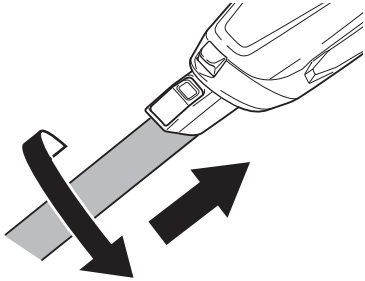
取り付け方

1. ストレートパイプ（ロック付）のストッパーがついている側を上にして、吸込口の溝に合わせます。
2. パイプをしっかり差し込むとカチッと音が鳴り、ストッパーがロックされます。
3. パイプを軽く引っ張りはずれないか確認してください。



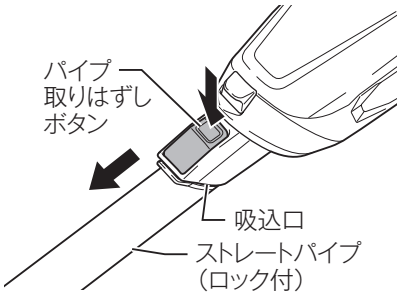
注

- **パイプを差し込む際、上下の向きが合っていない場合はストッパーがロックされず、パイプがはずれる恐れがあります。**
- **ロック機構無しのストレートパイプを使用する場合**
  - 矢印方向にしっかりとねじ込んで取り付けてください。



取りはずし方

- 吸込口の「パイプ取りはずしボタン」を押し込みながら、パイプを抜き取ってください。



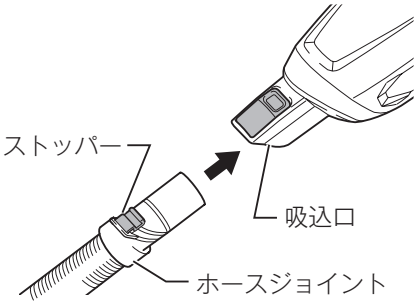
注

- **ロック機構無しのストレートパイプの場合は、取り付けと同じ方向にねじりながら抜き取ってください。**

【別販売品】ロック付クリーナ用伸縮フレキシブルホースの取り付け方・取りはずし方

取り付け方

1. ホースジョイントのストッパーがついている側を上にして、吸込口の溝に合わせます。
2. ホースジョイントをしっかり差し込むとカチッと音が鳴り、ストッパーがロックされます。
3. ホースジョイントを軽く引っ張りはずれないか確認してください。

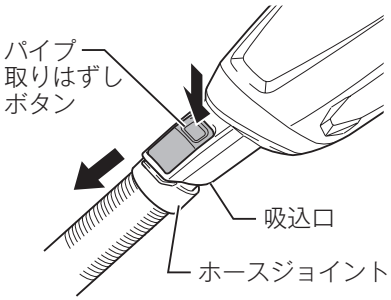


注

- **ホースジョイントを差し込む際、上下の向きが合っていない場合はストッパーがロックされず、ホースジョイントがはずれる恐れがあります。**

取りはずし方

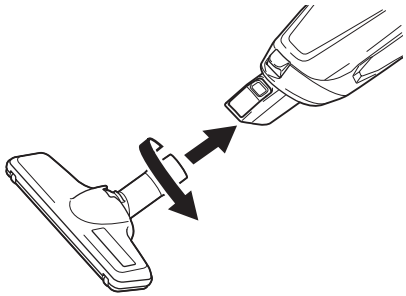
- 吸込口の「パイプ取りはずしボタン」を押し込みながら、ホースジョイントを抜き取ってください。



ノズルの取り付け方・取りはずし方

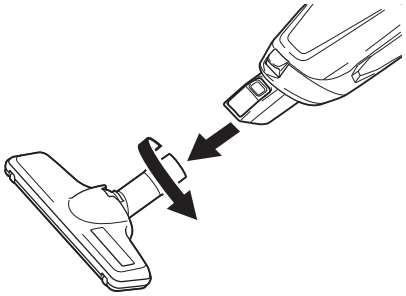
取り付け方

・ ノズルを取り付ける際は、使用中に抜けないようにノズルのパイプをストレートパイプや本製品の吸込口にしっかりとねじ込んで取り付けてください。



取りはずし方

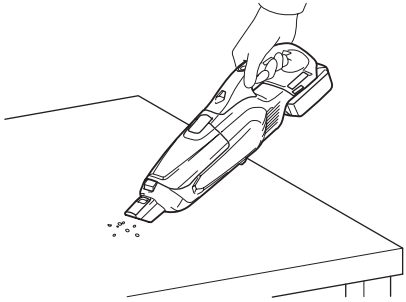
・ 取り付けと同じ要領で、ストレートパイプや本製品の吸込口からノズルのパイプをねじりながら抜き取ってください。



クリーナと付属品の使い方

ちょっとしたお掃除に

・ こぼした粉などは本製品で直接吸い込めます。

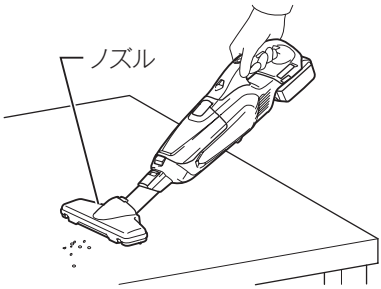


ちょっとしたお掃除にストレートパイプを使う

・ 床にこぼした粉などを掃除するときは、ストレートパイプを使用すると立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

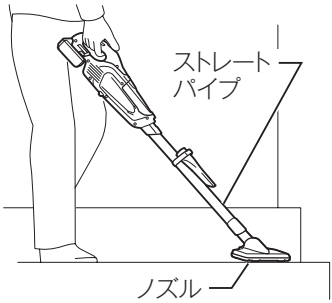
ノズルを使う

・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本製品に直接差し込んでお使いください。



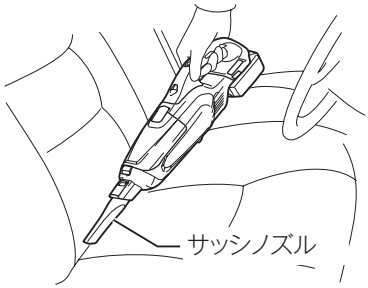
ノズル＋ストレートパイプを使う

・ たたみ・カーペット・床など低い所を掃除されるときは、本製品とノズルの間にストレートパイプを使用すると立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。



サッシノズルを使う

・ 自動車の中や家具などのすき間、サッシの溝など狭い場所を掃除されるときは、サッシノズルを本製品に直接差し込んでお使いください。



サッシノズル＋ストレートパイプ

・ 家具の奥など本製品があたって入らないときや高い所のすき間などを掃除されるときは、サッシノズルと本製品の間にストレートパイプを差し込んで、お使いください。

ゴミの捨て方

⚠ 警告

フィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

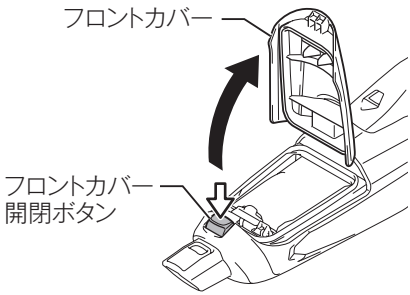
指や棒などをファンに近づけないでください。

・ けがや故障の原因になります。

・ ゴミをためすぎると吸込力が低下します。次の手順に従って早目にゴミを捨ててください。

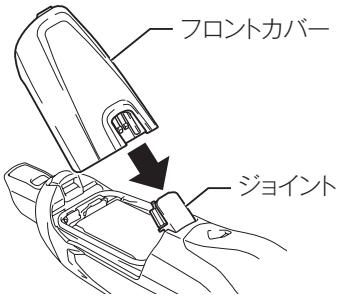
ゴミの捨て方

1. フロントカバー開閉ボタンを押して、フロントカバーを開きます。
   “カチッ”と音がするまで開くと、その状態で固定できます。

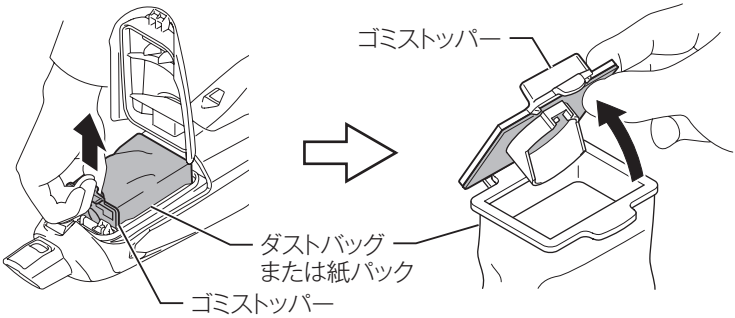


注

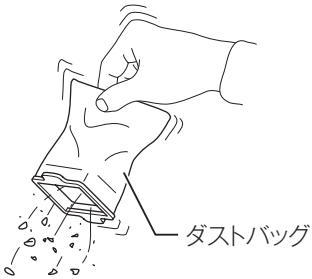
・ フロントカバーは 90° 以上開こうとすると、本製品からはずれます。
・ フロントカバーを取り付けるには、図のようにジョイントにフロントカバーを差し込んでください。
・ フロントカバーを閉じる際は、指をはさまないように注意してください。



2. ゴミストッパーとダストバッグ、または紙パックを一緒に引き抜き、その後ゴミストッパーを取りはずします。



3. ダストバッグ内のゴミを捨てます。
（紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。再使用はしないでください。目詰まりを起こして吸引力を落とします。）



注

- ゴミストッパーは捨てないでください。ダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用します。
  - ゴミストッパーとダストバッグ、またはゴミストッパーと紙パックを組み合わせて取り付けないとフロントカバーが閉まらない構造になっています。
- 本製品ケース内にゴミがあるときは必ず捨ててください。
  - 本製品内部のスポンジフィルタの目詰まりや、モータ故障の原因になります。

ダストバッグ / 紙パックの取り付け方

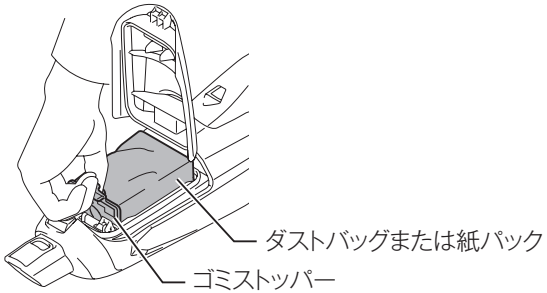
⚠ 注意

ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取り付けてください。
・ 購入時にはあらかじめダストバッグが取り付けてあります。

ダストバッグまたは紙パックの取り付けにはゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。

ゴミストッパーは捨てないでください。
・ ダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用します。

本製品には必ず、ゴミストッパーとダストバッグまたは紙パックを取り付けてください。取り付いていない場合は、本製品のフロントカバーを閉じることができません。
・ 本製品のフロントカバーが閉じない場合は、上記いずれかの部品が取り付いていない可能性があります。ご確認ください。



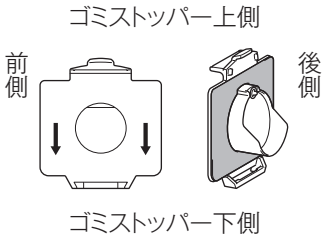
ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます。
・ 洗浄がご面倒な場合は使い捨ての紙パックをお使いください。

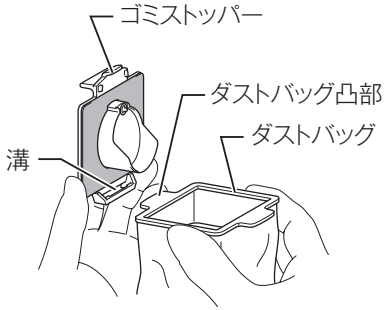
紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。
・ 再使用はしないでください。目詰まりを起こして吸引力を落とします。

ダストバッグ / 紙パックの取り付け方

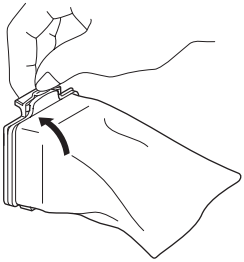
ダストバッグの取り付け方

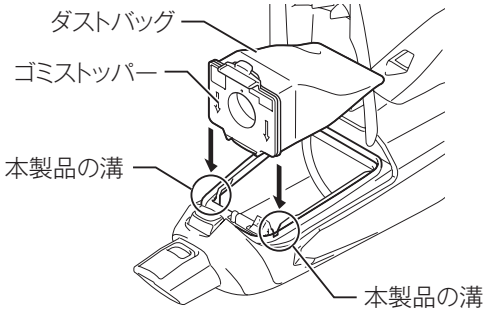
1. ゴミストッパー下側の溝にダストバッグの凸部を差し込みます。
   ダストバッグには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。



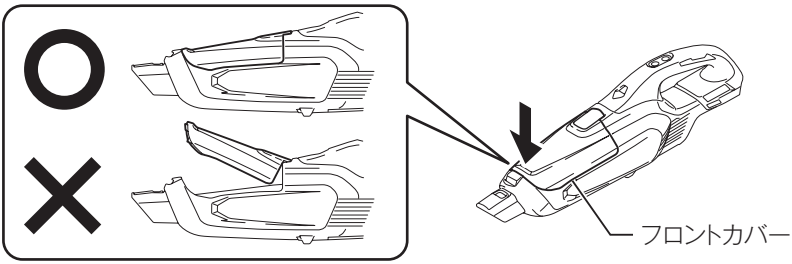


2. ゴミストッパーとダストバッグの枠を重ね合わせ、本製品に取り付けます。
・ ゴミストッパーとダストバッグを一緒に、本製品の溝奥までしっかり差し込んでください。ゴミストッパーの矢印が下向きになるように取り付けてください。
・ このときダストバッグの布側も本製品ケースにすべて収めてください。





3. フロントカバーを閉めます。カバーがしっかり閉まっているか確認してください。

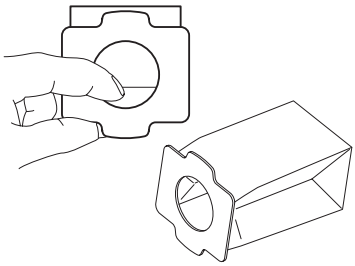


注

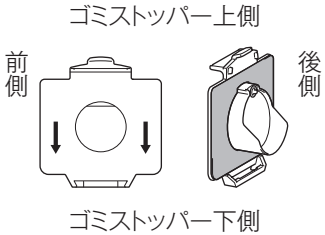
- 本製品には、必ずゴミストッパーとダストバッグを取り付けてください。ダストバッグを入れ忘れた場合や正しく取り付けていない場合は、本製品のフロントカバーを閉じることができません。

紙パックの取り付け方

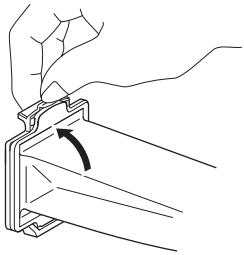
1. 紙パックをお使いの際は、ゴミストッパーにセットする前に紙パックの入り口を広げてください。

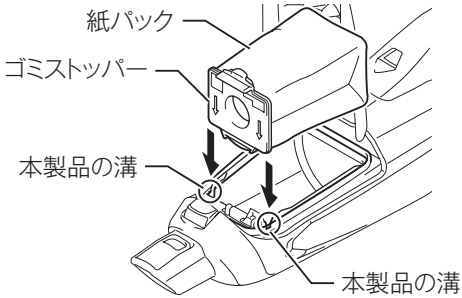


2. ゴミストッパー下側の溝に紙パック凸部を差し込みます。
紙パックには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。



3. ゴミストッパーと紙パックの枠を重ね合わせ、本製品に取り付けます。
・ ゴミストッパーと紙パックを一緒に、ゴミストッパーの矢印が下向きになるように、本製品の溝奥までしっかり差し込んでください。
・ このとき紙パックの袋側も本製品ケースにすべて収めてください。
・ 紙パックは使い捨てです。再使用しないでください。





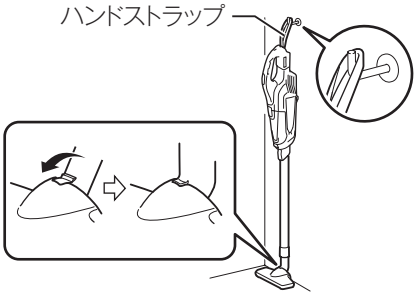
4. フロントカバーを閉めます（要領は 42 ページ参照）。

注

・ **本製品には、必ずゴミストッパーと紙パックを取り付けてください。紙パックを入れ忘れた場合や正しく取り付けていない場合は、本製品のフロントカバーを閉じることができません。**

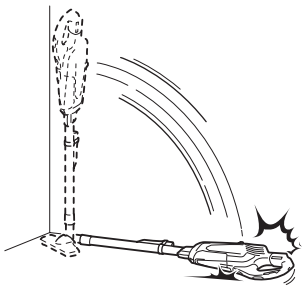
本製品の立て掛け方

・ 本製品を立て掛けるときは、ノズルの凹凸をはめ合わせ、ハンドストラップで、市販のフックなどに引っ掛けてください。



注

・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。



お手入れについて

⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

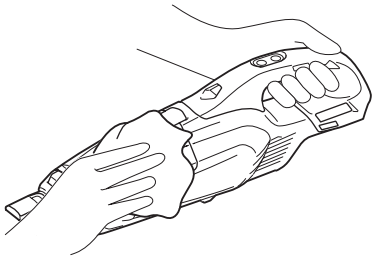
・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

・ けがや故障の原因になります。

本製品のお手入れ

・ 本製品の汚れは、布に薄めた中性洗剤を少量しみ込ませてふきとってください。
・ 吸込口についたゴミをふきとってください。

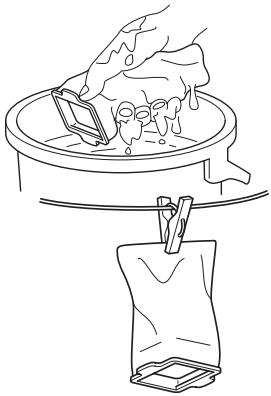


注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**
・ **エアブロワでの掃除は避けてください。**
  ・ エアブロワなどで掃除しますと、排気口より粉じんなどが内部に入り込んでしまい故障の原因となります。

ダストバッグのお手入れ

・ ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、薄めた中性洗剤でもみ洗いし、完全に乾燥させてからお使いください。



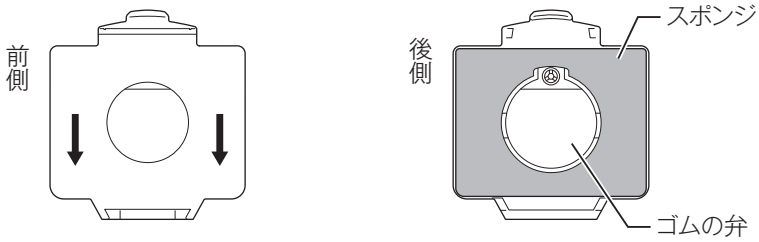
注

・ **乾燥が不十分のまま使用しないでください。**
  ・ 吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。
・ **紙パックは使い捨てです。再使用できません。**

お手入れについて

ゴミストッパーのお手入れ

・ ゴミストッパーについたゴミはふきとってください。
・ スポンジ部分の表面についた大きなゴミや汚れなどは、軽くはらい落としてください。



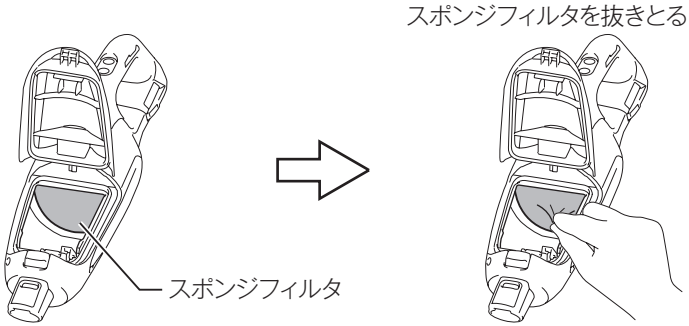
注

・ ガソリン、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因となります。

お手入れについて

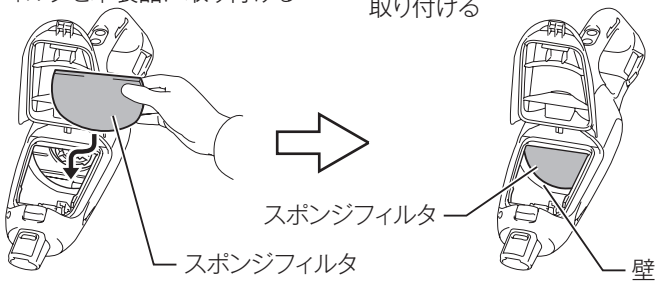
スポンジフィルタのお手入れ

1. ダストバッグまたは紙パックを取りはずします（要領は 38 ページ参照）。
2. ダストバッグ収納部の奥に見えるスポンジフィルタを抜き取ります。
3. スポンジフィルタをはたくか、水洗いしてください。



スポンジフィルタの取り付け方

・ ダストバッグ収納部奥の壁内側にスポンジフィルタの端を押し込みます。



注

- **スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本製品にスポンジフィルタを装着してください。**
- **スポンジフィルタを水洗いした際は、よく乾燥させてからお使いください。**
  - 乾燥が不十分のままお使いになりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因になります。
- **エアダスターなどでの掃除は避けてください。**
  - 粉じんなどが本製品内部に入り込み、故障の原因となります。

保護機能

本製品およびバッテリの保護機能

⚠ 警告
過負荷の原因を解消する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。 ・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとスポンジフィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
・ **バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。** （32 ページ“バッテリ切れお知らせ機能”参照） ・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
・ **本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。** ・ いったんスイッチを切り、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 48 ページ参照。

故障かな？と思ったら

症状別点検項目一覧

症状	調べる所	直し方
吸込力が弱い	・紙パックのゴミが一杯になっていませんか。	・紙パックを交換してください。
	・ダストバッグのゴミが一杯になっていませんか。	・ダストバッグのゴミを捨ててください。
	・紙パックが目詰まりしていませんか。	・紙パックを交換してください。
	・ダストバッグが目詰まりしていませんか。	・ダストバッグをはたくか、水洗いしてください。
	・バッテリが消耗していませんか。	・充電してください。
	・パイプやノズルにゴミが詰まっていませんか。	・パイプやノズルをはずして、ゴミを取り除いてください。
動かない	・バッテリが消耗していませんか。	・充電してください。

注

- お調べいただいても直らないときは、バッテリが寿命の可能性があります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、バッテリを交換してください。
- 修理はご自分では行わないでください。必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理いたします。製品と本書の保証書を一緒にお持ちください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店、または当社営業所にご相談ください。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881E38G2
IWT